

第 11 回サイエンスカフェ★えひめ

生きもの・生態への アプローチ ～愛大学生 3 人による研究発表～

日 時：平成 27 年 2 月 17 日(火) 19:00～20:30

場 所：愛媛大学校友会館 2F サロン（松山市文京町 3 番 城北キャンパス）

対 象：身近な自然に興味のある人、30 人 参加費：200 円

忽那諸島におけるウチヤマセンニユウの生息状況の解明および音声解析を用いた系統関係の推定
◆渡辺奈央さん◆理学部生態学研究室

ウチヤマセンニユウは体長約 17 cm の日本周辺の島嶼でしか繁殖していない希少な鳥です。2010 年、松山市沖の忽那諸島に属する小安居島で繁殖が確認され、瀬戸内海唯一の繁殖地となりました。本研究では、本種の忽那諸島での生息状況の解明とさえずりを用いた系統関係の推定を行いました。

愛媛県松山市高縄山における糞分析を用いたニホンジカの食性解析
◆古田智博さん◆理学部生態学研究室

最近よく話題となっているシカの食害を調べる上で、食性は意義のある研究です。今回は糞の内容物を見て、シカの植生を研究しました。夜な夜なウンチをすりつぶし、研究に没頭した日々の成果をぜひ聞いてください！

★お申し込み★

お名前、電話番号、e-mail（お持ちの場合）を明記の上、下記の連絡先まで、e-mail あるいは FAX にてお申し込みください。

NPO 森からづく道

（松山市鉄砲町 1-7）

e-mail : info@morimichi.org

FAX : 089-992-9152

（ご提供いただいた個人情報は適正に管理し、サイエンスカフェ★えひめ、自然観察会等のご案内にのみ使用します）

仁淀川水系黒川源流域における在来種アマゴと移入種イワナの食性
◆阿部博文さん◆理学部生態学研究室

アマゴとイワナは淡水性サケ科魚類です。仁淀川水系黒川源流域では、在来種としてアマゴが生息していたが、移入種としてイワナが現在確認されています。両種の胃内容物から食性について研究しました。

* * * 主催：NPO 森からづく道 共催：愛媛大学女性未来育成センター * * *